

## 「群馬の史跡めぐり」

群馬県立女子大学 北川 和 秀

### 1. 史跡とは

史跡とは、(一) 歴史上の各時代に営まれた人間の諸活動に伴う文化的遺産の痕跡で、地下および地上に残存するものの総称であり、遺跡ともよぶが、(二) 文化財保護法上は、貝塚・古墳・都城跡・城跡・旧宅その他の遺跡のうち、歴史上学術上価値が高く、重要なものとして文部大臣が指定したものをいう。(一) は一般的な意味の、(二) は法的に限定された意味の史跡である。……

〔国史大辞典〕

\*国指定の史跡は一七〇一件(平成二十四年九月十九日現在)。

そのうち、群馬県内の史跡は四七件。

\*国指定の史跡のうち、特に重要なものは特別史跡に指定されている。

特別史跡はわずかに六一件のみである(平成二十四年九月十九日現在)。

そのうち、群馬県内の特別史跡は三件。それが上野三碑である。

\*特別史跡は以下の通り。

#### 【北海道・東北】

五稜郭跡(北海道)、三内丸山遺跡(青森県)、中尊寺境内(岩手県)、  
無量光院跡(岩手県)、毛越寺境内附鎮守社跡(岩手県)、  
多賀城跡附寺跡(宮城県)、大湯環状列石(秋田県)

#### 【関東】

旧弘道館(茨城県)、常陸国分寺跡(茨城県)、常陸国分尼寺跡(茨城県)、  
大谷磨崖仏(栃木県)、日光杉並木街道附並木寄進碑(栃木県)、

金井沢碑(群馬県)、山上碑および古墳(群馬県)、多胡碑(群馬県)、  
旧浜離宮庭園(東京都)、江戸城跡(東京都)、小石川後樂園(東京都)

#### 【中部】

一乗谷朝倉氏遺跡(福井県)、尖石石器時代遺跡(長野県)、  
遠江国分寺跡(静岡県)、新居関跡(静岡県)、登呂遺跡(静岡県)、  
名古屋城跡(愛知県)、本居宣長旧宅同宅跡(三重県)

#### 【近畿】

安土城跡(滋賀県)、彦根城跡(滋賀県)、慈照寺(銀閣寺)庭園(京都府)、  
鹿苑寺(金閣寺)庭園(京都府)、醍醐寺三宝院庭園(京都府)、  
大坂城跡(大阪府)、百濟寺跡(大阪府)、姫路城跡(兵庫県)、  
キトラ古墳(奈良県)、高松塚古墳(奈良県)、山田寺跡(奈良県)、  
石舞台古墳(奈良県)、菓山古墳(奈良県)、藤原宮跡(奈良県)、  
文殊院西古墳(奈良県)、平城宮跡(奈良県)、  
平城京左京三条二坊宮跡庭園(奈良県)、本薬師寺跡(奈良県)、  
岩橋千塚古墳群(和歌山県)

#### 【中国・四国】

斎尾廃寺跡(鳥取県)、  
旧閑谷学校附椿山石門津田永忠宅跡および黄葉亭(岡山県)、  
厳島(広島県)、廉塾ならびに菅茶山旧宅(広島県)、讃岐国分寺跡(香川県)

#### 【九州】

王塚古墳(福岡県)、水城跡(福岡県)、大宰府跡(福岡県)、  
大野城跡(福岡県)、吉野ヶ里遺跡(佐賀県)、名護屋城跡並陣跡(佐賀県)、  
金田城跡(長崎県)、原の辻遺跡(長崎県)、熊本城跡(熊本県)、  
臼杵磨崖仏附日吉塔、嘉応二年在銘五輪塔承安二年在銘五輪塔(大分県)、  
西都原古墳群(宮崎県)、基肄城跡(福岡県・佐賀県)

2. 万葉集の上野国東歌・防人歌によまれた地名

【伊香保】9首

- ① 伊香保ろに天雲い継ぎかぬまづく人とおたはふいざ寝しめとら (三四〇九)
- ② 伊香保ろの岨の榛原ねもころに将来をなかねそ現在し善かば (三四一〇)
- ③ 伊香保ろの八尺の井手に立つ虹の躰ろまでもさ寝をさ寝てば (三四一四)
- ④ 上毛野 伊香保の沼に植多小水葱かく恋ひむとや種求めけむ (三四一五)
- ⑤ 伊香保せよ奈可中次下思ひどろ隈こそしつと忘れせなふも (三四一九)
- ⑥ 伊香保嶺に雷な鳴りそね吾が上には故はなけども子らによりてそ (三四二二)
- ⑦ 伊香保風吹く日吹かぬ日ありと言へど吾が恋のみし時なかりけり (三四二二)
- ⑧ 上毛野 伊香保の嶺ろに降る雪の行き過ぎかてぬ妹が家のあたり (三四二二)
- ⑨ 伊香保ろの岨の榛原吾が衣に着きよらしもよひたへと思へば (三四三五)

【佐野】3または4首

- ⑩ 上毛野 佐野の茎立ち折りはやし吾は待たむ多今年来ずとも (三四〇六)
- ⑪ 上毛野 佐野田の苗のむら苗に事は定めつ今はいかにも (三四一八)
- ⑫ 上毛野 佐野の舟橋取り放し親は離れど吾は離るがへ (三四二〇)
- ⑬ 佐野山に打つや斧音の遠かども寝もとか子ろが面に見えつる (三四七三)

【多胡】2首

- ⑭ 吾が恋は現在もかなし草枕多胡の入野の将来もかなしも (三四〇三)
- ⑮ 多胡の嶺に寄網延へて寄すれどもあにくやしづしその顔よきに (三四一一)

【新田山(金山)】2首

- ⑯ 新田山嶺には着かなな吾によそり間なる子らしあやに愛しも (三四〇八)
- ⑰ しらとほふ小新田山の守る山の未枯れせな常葉にもがも (三四三六)

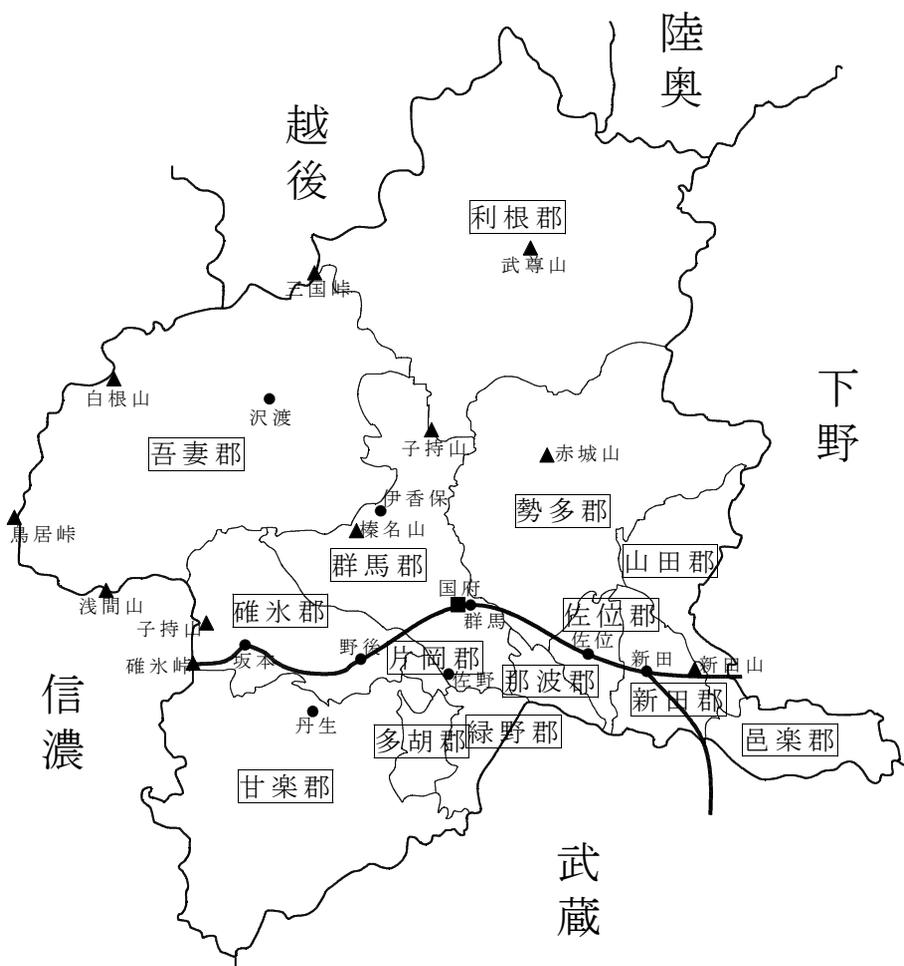
【安蘇】2首

- ⑱ 上毛野 安蘇の真麻群かき抱き寝れど飽かぬを何どか吾がせむ (三四〇四)
- ⑲ 上毛野 阿蘇山 葛野を広み延ひにしものをあぜか絶えせむ (三四三四)

- 【碓氷】2首
- ⑳ 日の暮に碓氷の山を越ゆる日は夫なのが袖もさやに振らしつ (三四〇二)
- ㉑ ひな曇り碓氷の坂を越えしだに妹が恋しく忘れぬかも (四四〇七) 防人歌

【その他】各1首

- ⑳ 上毛野 平度の多埜里が川路にも子らは逢はなも一人のみして (三四〇五)
- ㉑ 上毛野 小野の多埜里が安波治にも夫な逢はなも見る人なしに (三四〇五或本)
- ㉒ 上毛野 久路保の嶺ろの葛葉がた愛しけ子らにいや離り来も (三四一二)
- ㉓ 利根川の川瀬も知らず直渡り波にあふのす逢へる君かも (三四一三)
- ㉔ 上毛野 可保夜が沼のいはる蔓引かばぬれつつ吾をな絶えそね (三四一六)
- ㉕ 上毛野 伊奈良の沼の大藪草外に見しよは今こそ勝れ (三四一七)
- ㉖ 子持山若鶏冠木の黄葉つまで寝もと吾は思ふ汝は何どか思ふ (三四九四)
- ㉗ 左和多里の手児にい行き逢ひ赤駒が足掻きを速み言問はず来ぬ (三四〇〇)
- ㉘ 真金吹く丹生の真朱の色に出て言はなくのみそ吾が恋ふらくは (三五六〇)



※郡界は寛文八年(1668)の上野国郷帳の村名に基づき推定した。

## 群馬県内の国指定史跡一覧

(平成24年9月現在)

| 番号 | 名称<br>よみ                           | 所在地          | 時代              | 指定年月日        |    |
|----|------------------------------------|--------------|-----------------|--------------|----|
| 1  | 岩宿遺跡<br>いわじゅくいせき                   | みどり市笠懸町阿左美   | 旧石器時代           | 昭和54. 8. 17  | 29 |
| 2  | 西鹿田中島遺跡<br>さいしかだなかじまいせき            | みどり市笠懸町西鹿田   | 縄文草創期           | 平成16. 9. 30  | 41 |
| 3  | 滝沢石器時代遺跡<br>たきざわせつきじだいいせき          | 渋川市赤城町見立     | 縄文早期～晩期         | 昭和 2. 4. 8   | 5  |
| 4  | 譲原石器時代住居跡<br>ゆずりはらせつきじだいいじゅうきよあと   | 藤岡市譲原        | 縄文中期～後期初頭       | 昭和23. 12. 18 | 25 |
| 5  | 水上石器時代住居跡<br>みなかみせつきじだいいじゅうきよあと    | 利根郡みなかみ町大穴   | 縄文中期～後期         | 昭和19. 11. 13 | 21 |
| 6  | 矢瀬遺跡<br>やぜいせき                      | 利根郡みなかみ町月夜野  | 縄文後期～晩期         | 平成 9. 3. 17  | 37 |
| 7  | 茅野遺跡<br>かやのいせき                     | 北群馬郡榛東村長岡    | 縄文後期～晩期         | 平成12. 3. 7   | 39 |
| 8  | 日高遺跡<br>ひだかいせき                     | 高崎市日高町・中尾町   | 弥生時代後期          | 平成 1. 11. 9  | 34 |
| 9  | 中高瀬観音山遺跡<br>なかたかせかんのんやまいせき         | 富岡市岡本・中高瀬    | 弥生時代後期          | 平成 9. 3. 17  | 37 |
| 10 | 八幡山古墳<br>はちまんやまこふん                 | 前橋市朝倉町4丁目    | 4世紀前半           | 昭和24. 7. 13  | 26 |
| 11 | 浅間山古墳<br>せんげんやまこふん                 | 高崎市倉賀野町      | 4世紀後半           | 昭和 2. 4. 8   | 5  |
| 12 | 大鶴巻古墳<br>おおつるまきこふん                 | 高崎市倉賀野町      | 5世紀前半           | 昭和 2. 4. 8   | 5  |
| 13 | 白石稲荷山古墳<br>しろいしいなりやまこふん            | 藤岡市白石        | 5世紀前半           | 平成 5. 11. 30 | 36 |
| 14 | 女体山古墳<br>によたいざんこふん                 | 太田市内ヶ島町      | 5世紀前半           | 昭和 2. 4. 8   | 5  |
| 15 | 天神山古墳<br>てんじんやまこふん                 | 太田市内ヶ島町      | 5世紀前半           | 昭和16. 1. 27  | 19 |
| 16 | 北谷遺跡<br>きたやついせき                    | 高崎市引間町       | 5世紀後半<br>～6世紀初頭 | 平成17. 7. 14  | 42 |
| 17 | 保渡田古墳群<br>ほとだこふんぐん                 | 高崎市保渡田町・井出町  | 5世紀後半<br>～6世紀初頭 | 昭和60. 9. 3   | 31 |
| 18 | 本郷埴輪窯跡<br>ほんごうはにわかまあと              | 藤岡市本郷        | 5世紀～6世紀         | 昭和19. 11. 13 | 21 |
| 19 | 前二子古墳<br>まえふたごこふん                  | 前橋市西大室町      | 6世紀前半           | 昭和 2. 4. 8   | 5  |
| 20 | 中二子古墳<br>なかふたごこふん                  | 前橋市東大室町・西大室町 | 6世紀前半           | 昭和 2. 4. 8   | 5  |
| 21 | 二子山古墳(文京町)<br>ふたごやまこふん             | 前橋市文京町3丁目    | 6世紀前半           | 昭和 2. 6. 14  | 13 |
| 22 | 黒井峯遺跡<br>くろいみねいせき                  | 渋川市北牧        | 6世紀中期           | 平成 5. 4. 2   | 35 |
| 23 | 後二子古墳ならびに小古墳<br>うしろふたごこふんおよびしょうこふん | 前橋市西大室町      | 6世紀中頃～後半        | 昭和 2. 4. 8   | 5  |

|    |  |                         |                     |              |    |
|----|--|-------------------------|---------------------|--------------|----|
| 24 | 七輿山古墳<br>ななこしやまこふん                         | 藤岡市上落合                  | 6世紀後半               | 昭和 2. 6. 14  | 13 |
| 25 | 二子山古墳（総社町）<br>ふたごやまこふん                     | 前橋市総社町植野                | 6世紀後半               | 昭和 2. 4. 8   | 5  |
| 26 | 観音山古墳<br>かんのんやまこふん                         | 高崎市綿貫町・台新田町             | 6世紀後半               | 昭和48. 4. 14  | 27 |
| 27 | 観音塚古墳<br>かんのんづかこふん                         | 高崎市八幡町                  | 6世紀末<br>～7世紀初頭      | 昭和23. 1. 14  | 24 |
| 28 | 山王廃寺跡<br>さんのうはいじあと                         | 前橋市総社町総社                | 7世紀後半               | 昭和 3. 2. 7   | 15 |
| 29 | 宝塔山古墳<br>ほうとうざんこふん                         | 前橋市総社町総社                | 7世紀後半               | 昭和19. 11. 13 | 21 |
| 30 | 上野国新田郡庁跡<br>こうずけのくににいたぐんちょうあと              | 太田市天良町                  | 7世紀後半<br>～9世紀前半     | 平成20. 7. 28  | 44 |
| 31 | 山上碑および古墳<br>やまのうえひおよびこふん                   | 高崎市山名町                  | 天武10年<br>(681年)     | 大正10. 3. 3   | 1  |
| 32 | 蛇穴山古墳<br>じゃけつざんこふん                         | 前橋市総社町総社                | 7世紀末<br>～8世紀初頭      | 昭和49. 12. 23 | 28 |
| 33 | 多胡碑<br>たごひ                                 | 高崎市吉井町池                 | 和銅4年<br>(711年)      | 大正10. 3. 3   | 1  |
| 34 | 金井沢碑<br>かないざわひ                             | 高崎市山名町                  | 神亀3年<br>(726年)      | 大正10. 3. 3   | 1  |
| 35 | 上野国分寺跡<br>こうづけこくぶんじあと                      | 高崎市東国分町・引間町<br>・前橋市元総社町 | 天平勝宝2年頃<br>(750年)   | 大正15. 10. 20 | 4  |
| 36 | 武井廃寺塔跡<br>たけいはいじとうあと                       | 桐生市新里町武井                | 奈良時代<br>(火葬墳墓か)     | 昭和16. 1. 27  | 19 |
| 37 | 十三宝塚遺跡<br>じゅうさんぼうづかいせき                     | 伊勢崎市境伊与久                | 8世紀後半頃              | 昭和63. 1. 11  | 33 |
| 38 | 女堀<br>おんなぼり                                | 前橋市富田町、伊勢崎市<br>赤堀町ほか    | 12世紀半ば              | 昭和58. 10. 27 | 30 |
| 39 | 新田荘遺跡<br>にいたのしょういせき                        | 太田市別所町・世良田町<br>ほか       | 中世                  | 平成12. 11. 1  | 40 |
| 40 | 生品神社境内（新田義貞挙兵伝説地）<br>いくしなじんじゃけいだい          | 太田市新田市野井町               | 鎌倉末期                | 昭和 9. 3. 13  | 17 |
| 41 | 金山城跡<br>かなやまじょうあと                          | 太田市東金井町ほか               | 室町時代                | 昭和 9. 12. 28 | 18 |
| 42 | 箕輪城跡<br>みのわじょうあと                           | 高崎市箕郷町東明屋               | 戦国時代                | 昭和62. 12. 17 | 32 |
| 43 | 高山彦九郎宅跡 附遺髪塚<br>たかやまひこくろうたくあと              | 太田市細谷町                  | 江戸時代                | 昭和 6. 11. 26 | 16 |
| 44 | 田島弥平旧宅<br>たじまやへいきゅうたく                      | 伊勢崎市境島村                 | 文久3年<br>(1863年)     | 平成24. 9. 19  | 47 |
| 45 | 旧富岡製糸場<br>きゅうとみおかせいしじょう                    | 富岡市富岡                   | 明治5年<br>(1872年)     | 平成17. 7. 14  | 42 |
| 46 | 高山社跡<br>たかやましやあと                           | 藤岡市中栗須（発祥の地<br>は藤岡市高山）  | 明治17年<br>(1884年)    | 平成21. 7. 23  | 45 |
| 47 | 荒船・東谷風穴蚕種貯蔵所跡<br>あらふね・あずまやふうけつさんしゅちよぞうしょあと | 甘楽郡下仁田町・吾妻郡<br>中之条町     | 明治38・39年<br>(1884年) | 平成22. 2. 22  | 46 |

